



# DHCP サブネットの設定

---

この章では、サブネットを DHCP サーバに追加する手順について説明します。

サブネットを検索して DHCP サーバに追加する手順は、次のとおりです。

- [DHCP サブネットの検索 \(P.11-2\)](#)
- [DHCP サブネットの設定 \(P.11-4\)](#)
- [DHCP サブネットの削除 \(P.11-6\)](#)
- [DHCP サブネットの設定値 \(P.11-5\)](#)

## DHCP サブネットの検索

DHCP サブネットを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

ブラウザセッションでの作業中は、検索 / リストの検索設定がクライアントマシンの cookie に保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合や、ブラウザを閉じてから再び新しくブラウザ ウィンドウを開いた場合でも、検索に変更を加えない限り、Cisco CallManager の検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** System > DHCP > DHCP Subnet の順に選択します。

Find and List DHCP Subnets ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウンリストボックスを使用して、サーバを検索します。

**ステップ 2** 最初の Find DHCP Subnets where ウィンドウのドロップダウンリストボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- DHCP Server
- Subnet IP Address
- Primary Start IP Address
- Primary End IP Address
- Secondary Start IP Address
- Secondary End IP Address

2番目の Find DHCP Subnets where ドロップダウンリストボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- is exactly (完全一致)
- ends with (後方一致)
- is empty (空白)
- is not empty (非空白)

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。



ヒント

データベースに登録されている DHCP サブネットをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出されたサブネットのリストが、次の項目別に表示されます。

- DHCP Server
- Subnet IP Address
- Primary Start IP Address

- Primary End IP Address
- Secondary Start IP Address
- Secondary End IP Address

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件と一致する DHCP サブネット名をクリックします。

選択したサブネットがウィンドウに表示されます。

---

#### 追加情報

P.11-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## DHCP サブネットの設定

Cisco CallManager データベースに DHCP サブネット アドレスを追加、更新、およびコピーする手順は、次のとおりです。

### 手順

---

**ステップ 1** System > DHCP > DHCP Subnet の順に選択します。

**ステップ 2** 次の作業のいずれかを実行します。

- DHCP サブネットを追加するには、**Add New** をクリックします。
- サブネットを更新するには、P.11-2 の「[DHCP サブネットの検索](#)」の手順を使用してサブネットを検索します。
- サブネットをコピーするには、P.11-2 の「[DHCP サブネットの検索](#)」の手順を使用してサブネットを検索し、DHCP サーバ名の横にあるチェックボックスをオンにしてサーバを選択し、**Copy** をクリックします。

DHCP Subnet Configuration ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します (表 11-1 を参照)。

**ステップ 4** ウィンドウ右上のツールバーに表示されている **Save** アイコンをクリックして (または、ウィンドウの一番下に表示されている **Save** ボタンをクリックして)、データを保存し、サブネットをデータベースに追加します。

---

サーバ設定の変更を有効にするには、Cisco CallManager を再起動します。Cisco CallManager サービスの再起動については、『*Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド*』を参照してください。

### 追加情報

P.11-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## DHCP サブネットの設定値

表 11-1 では、サブネットの設定値について説明します。関連する手順については、P.11-6 の「関連項目」を参照してください。

表 11-1 DHCP サブネットの設定値

Server Information フィールド	説明
DHCP Server	DHCP サーバ名をドロップダウン リスト ボックスから選択します。
Subnet IP Address	サブネットの IP アドレスを入力します。
Primary Start IP Address	割り当てる最初の IP アドレス範囲の開始 IP アドレスを入力します。
Primary End IP Address	割り当てる最初の IP アドレス範囲の終了 IP アドレスを入力します。
Secondary Start IP Address	割り当てる 2 番目の IP アドレス範囲の開始 IP アドレスを入力します。
Secondary End IP Address	割り当てる 2 番目の IP アドレス範囲の終了 IP アドレスを入力します。
Primary Router IP Address	サブネットのプライマリ ルータの IP アドレスを入力します。
Secondary Router IP Address	サブネットのセカンダリ ルータの IP アドレスを入力します。
Subnet Mask	サブネット マスクを入力します。
Domain Name	このフィールドには、ドメイン ネーム システムを通じてホスト名を解決するときに使用する名前を指定します。
Primary DNS IP Address	このフィールドには、プライマリ DNS IP サーバ名を指定します。
Secondary DNS IP Address	このフィールドには、セカンダリ DNS IP サーバ名を指定します。
TFTP Server Name (Option 66)	このフィールドは、TFTP サーバを指定するために使用します。このパラメータに設定できるのは、DNS 名またはドット付き 10 進 IP アドレス 1 つのみです。
Primary TFTP Server IP Address (Option 150)	このフィールドには、プライマリ Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバの IP アドレスを指定します。
Secondary TFTP Server IP Address (Option 150)	このフィールドには、セカンダリ TFTP サーバの IP アドレスを指定します。
Bootstrap Server IP Address	このフィールドには、ブートストラップ プロセスの次のステップで使用されるサーバのアドレスを指定します。このフィールドは、TFTP サーバの IP アドレスとして使用することができます。また、次のブートストラップ サービスを DHCP サーバが提供する場合は、DHCP サーバアドレスのデフォルト値として使用することもできます。
ARP Cache Timeout (sec)	このフィールドには、ARP キャッシュ エントリのタイムアウトを秒単位で指定します。期間を 32 ビットの符号なし整数で指定します。
IP Address Lease Time (sec)	DHCP サーバは、このフィールドにある情報を使用してオファアのリース期間を指定します。期間を秒単位の 32 ビット符号なし整数で指定します。
Renewal (T1) Time (sec)	このフィールドには、アドレス割り当ての時点から、クライアントが RENEWING 状態に遷移するまでの時間間隔を指定します。
Rebinding (T2)Time (sec)	このフィールドには、アドレス割り当ての時点から、クライアントが REBUILDING 状態に遷移するまでの時間間隔を指定します。値を秒単位の 32 ビット符号なし整数で指定します。

## DHCP サブネットの削除

DHCP サブネットを Cisco CallManager データベースから削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** P.11-2 の「[DHCP サブネットの検索](#)」の手順を使用して、DHCP サブネットを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する DHCP サブネットを選択します。
- ステップ 3** ウィンドウ右上のツールバーに表示されている **Delete Selected Item** アイコンをクリックして（または、ウィンドウの一番下に表示されている **Delete Selected** ボタンをクリックして）、サブネットを削除します。

Cisco CallManager は、サブネットが使用中でない場合、そのサブネットを削除します。サブネットが使用中である場合は、メッセージが表示されます。



- 
- (注)** 該当するサーバの横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、Find and List Servers ウィンドウから複数の DHCP サーバを削除できます。**Select All** をクリックして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのサーバを削除できます。
- 

### 追加情報

P.11-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [DHCP サブネットの検索 \(P.11-2\)](#)
- [DHCP サブネットの設定 \(P.11-4\)](#)
- [DHCP サブネットの削除 \(P.11-6\)](#)
- [DHCP サブネットの設定値 \(P.11-5\)](#)
- [DHCP サーバの設定 \(P.10-1\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP)」